FY2026_2Q
DISCO's Tidbits

2026.11

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

留意事項

将来の見通しについて

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料の利用について

プレゼンテーション資料に記載されている情報の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。
本資料は各国の法律によって明示的に認められる範囲を超えて資料を使用・引用する場合、当社の文書等による承諾が必要です。

https://www.disco.co.jp/

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

■ 特定顧客に関わるご質問は回答出来かねます

特定顧客の製造プロセスや生産キャパシティ、引き合い・投資動向など、個別企業の生産秘密情報が推測可能なご質問は回答出来かねます。

半導体メーカ各社によって技術・製造プロセスが異なる場合があり、それらは各社の生産秘密情報にあたります。特定顧客からの注文状況、装置仕様やスループットなどは原則として回答いたしません。

■ 市況認識は決算発表時の見通しを基準として回答します

期中に市況認識の回答・コメントの変更は行いません。（適時開示事項を除きます）

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

市況概況　3ヶ月前との比較

- ✓ 生成AI向けを中心に装置需要の強さが継続
  - 出荷時期による変動はあるものの、メモリ・ロジック関連の需要は旺盛
  - CPOやパワー半導体など、需要の裾野が拡大
  - OSATを含む幅広い顧客で装置需要が堅調
- ✓ 消耗品の出荷は幅広い用途で増加
  - 生成AI向け高付加価値品に加え、PC・スマホやパワー半導体などで出荷が増加
  - 最終需要を含めて今後の動向を注視
- ✓ 旺盛な需要に対応するため、生産体制を着実に強化
  - 高付加価値製品に加え、ダイサを中心に装置台数も増加傾向
  - 生産支援の拡充や継続的な工数削減・生産性向上により、生産能力を強化
- ✓ 新たな先端パッケージング技術が本格量産段階に移行する時期を注視
- ✓ 調達環境や部材・原材料コスト上昇による影響は現時点では限定的

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

用途別の補足

【出荷】装置全体での構成比

		FY25				FY26		
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
						実績		予測
顧客分類	OSAT	30%	30%弱	30%弱	30%強	35%	30%強	30%
用途分類	Memory ※	40%強	40%弱	20%弱	30%弱	35%	35%	30%
	Power	10%弱	10%弱	10%強	10%弱	10%弱	10%弱	10%弱

※生成AI関連含む

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

GPMおよび販売管理費の考え方について

10-12月期想定

GPM　　QoQ 2pt弱 低下で計画を策定 （想定為替レートUSD151円）

装置は過去の傾向を参照し、個別案件毎の精緻な利益計画は算出していない
実際には製品や用途の構成により変動すると見られる

販売管理費　　QoQ 概ね横ばいで計画を策定

基本的な考え方
1. 販売管理費の大半は人件費（研究開発費の人件費を含む）
2. 業績連動による賞与引当により大きく増減
3. 概ね出荷額に連動するため四半期で大きく変動する場合がある

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

設備投資、研究開発

FY26見通し

CAPEX：約330億円　引き続き設備拡張による支出を予定

（前回見通しから変更無し）

参考：広島事業所 郷原工場の建築を決定（2025/4/18）

DEP：約160億円

（前回見通しから変更無し）

R&D：約380億円　積極的な研究開発活動を継続

（前回見通しから変更無し）

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

ご参考　ディスコ株保有を検討される皆様へ

当社ではMissionの実現性の向上に取り組むことで、結果として企業価値の向上と競争力向上に繋がり、資本市場の皆さまの期待に応えることができると考えています

- ✓ 事業の質の追求
- ✓ 自己資金の活用と目的
- ✓ 株主還元方針
- ✓ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

上記の考え方について詳しくはこちらをご確認ください

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

本資料について
掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について
年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY(Fiscal Year)と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。
金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項
この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

英語圏の方々のために英語資料を提供する場合、和文（原文）と英訳の内容が相違した際は和文の内容が優先されます。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用(複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む)するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

https://www.disco.co.jp/

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.